

1. 会議等の名称 平成 25 年度 第 2 回三重県聴覚障害者支援センター評価委員会
2. 開催日時 平成 25 年 11 月 27 日（水）19:00～21:00
3. 開催場所 三重県聴覚障害者支援センター 研修室
4. 出席者

(1) 委員

佐藤 俊通（委員長）  
三浦 正敏（副委員長）  
西尾 恵子（委員）  
山崎 靖子（委員）  
横山 慶（委員）

(2) 三重県聴覚障害者支援センター

倉野 直紀（指定管理者 三重県聴覚障害者 事務局長）  
山本 喜秀（センター長 支援課、ライブラリー課責任者）  
那須 万美子（派遣課責任者）  
加藤 恵美（養成課責任者）  
田代 慶藏（相談事業担当者）  
矢野 玲子（職員）※記録担当  
岡田 敦子（指定管理者 三重県聴覚障害者協会 職員）※記録担当

5. 議題及び審議の内容

【議題】

- (1) 三聴障協挨拶
- (2) 事前質問事項への回答及び質疑応答
- (3) 業務報告以外での質問

【審議の内容】

(1) 三聴障協挨拶

本来は会長が出席すべきところ、体調不良により欠席で申し訳ない。

(2) 事前質問事項への回答及びそれに対する質疑応答

1) 市町の派遣担当者会議について。

質問：事業報告書 7 ページ「③手話通訳者・要約筆記者派遣事業」の「e. 市町への支援」のところに、『市町の派遣担当者会議を年 1 回程度開催し…』とありますが、今年度は、開催する予定はありますか？

回答：昨年度は 3 月に設置手話通訳者会議として開催した。今年度も開催する予定。

手話奉仕員の養成カリキュラムが変わるので、話し合いが必要だと思っている。

質問：設置手話通訳者会議の出席者は何名か。またそれは全体の何%か。

回答：割合はわからないが、県 1 名、7 市が参加し、2 市が欠席です。

質問：会議での内容は、手話通訳の派遣にについてののみか。

回答：違う。要約筆記が奉仕員から者へ移行すること、市町で補講を開いた場合は、県の講座を修了したこととする等、説明をした。

## 2) 達成目標について。

質問：第2四半期を過ぎて達成率が50%以下のものがありますが、達成に向けての方策はありますか？

回答：各担当者の目標計画を作って貼り出し、職員同士が協力し合いながら進めている。また毎木曜日にミーティングを開催し、計画的に進めている。

質問：ビデオ制作は遅れていると思う。あと2期で制作は達成できるのか。

回答：字幕制作ボランティアを募集し、徐々に進める予定。

## (3) 業務報告書以外の質問・意見及び回答

### 1) イベントの開催日について

質問：センターまつりや、イベントは休みの日にしてください。

回答：今年度のセンターまつりは土曜日に開催した。ただ、土日は養成講座等でセンターを使用する機会が多い。また土日に開催した場合は、土日出勤となり、職員が平日に振替休日を取得することになる。平日にあまり休みが多いと仕事にも支障があり、今後の課題だと思う。開催日についてアンケートを取りたいとも思っている。

意見：土日だと、仕事をしている人も参加しやすい。大変だと思うが、極力お願いしたい。

意見：第3四半期の報告では、周知の方法、開催日程について意見が出ると思う。期待したい。

### 2) 生活訓練事業

※資料の訂正（14ページ ⑧のaの枠内の②）

[誤] ~3月15日(土) → [正] ~3月8日(土)
------------------------------

意見：難聴者のための手話教室を夜間に開催してください。

回答：担当者がパートなので、夜間に出勤するのは難しい。担当を変えることも考える必要がある。難聴者へも意見を聞いてみたい。

### 5) 字幕映像ライブラリー制作・貸出事業

意見：倉庫に入っているビデオの入れ替えをしてください。

回答：利用の多いものを置いている。事前に申請があれば、倉庫から出すことも可能。また複数あるビデオは、1本のみセンターに置き、残りは倉庫に保管している。

質問：突然、来所した場合でも、倉庫から出してもらえるのか？

回答：倉庫には50箱程度が保管されているので、当日に言われて困ったことがある。できるだけ事前に申請してほしい。

質問：利用者が保管場所を把握できるのか？

回答：職員しかわからない。作品リストはホームページに掲載されている。検索システムがあるといいのだが。保管場所もわかるように掲載し、「倉庫にあるものは事前申請を」と案内できるよう努力したい。

意見：もし検索システムが導入できるなら、貸出中のものもわかるようにしてほしい。

回答：理想に近づけるよう頑張ります。

## 6) 相談事業

質問：相談業務 27 名のサポーターには、どんな内容の相談ができますか。

また、どんな専門の方がいるのですか。専門家の内訳が分れば教えてください。

回答：相談担当は職員 2 名と登録している相談員が 6 名です。災害時支援サポーター 28 名のうち 5 名が相談業務もできる人。よって相談業務を担えるのは 13 名。

専門は、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士と、相談員研修の受講者等。

## 7) 相談事業

質問：相談員の方のスキルアップ等の研修会は計画していますか？

回答：三聴障協の福祉対策部で「相談員研修」を計画中。

ぜひセンター登録の相談員にも参加してもらいたい。

質問：相談を受けたら、どこにつなげるのかなど、相談の手法について学ぶ計画はあるのか。

回答：一度、13 名が集まり、顔合わせやネットワーク作り、専門機関へつなげる方法などを確認し合いたいと思っている。

質問：それは、前述の三聴障協福祉対策部の「相談員研修」とは別の研修か。

回答：まずは三聴障協の研修内容が合うか確認する。6 名の相談員は、三聴障協の相談員も兼ねているので。

質問：相談業務が第 1 期と第 2 期では減少している。原因をわかれば教えてください。

回答：相談件数は減少しているが、来所による相談は減少していない。一度、相談に来た人がその後、メールで相談してくる場合もある。メールによる相談は増加している。

質問：聴覚障害者の家族が相談に来るケースもあるのか。

回答：電話で受けたことがある。聴覚障害の他にも障害を持っていて、進学先について相談を受けた。

質問：そのケースでは、相談者がセンターを知るきっかけとなったのは何か。例えば知人の紹介とか、病院にセンターのパンフレットが設置されていたのかなど。県民対象の施設なら、パンフレットを広く置いてもらうなどの対応が必要だと思う。

相談件数を増やすためには、センターの周知方法、相談員のスキルアップも必要。専門機関へつなげた後の状況把握、対応できなかった場合の課題なども考えて、スキルアップしてほしい。

相談が必要な人は、まずは医療機関を受診すると思うので、医療機関などつなげる専門機関・窓口を増やしてほしい。

回答：ご意見を参考にします。

補足説明：聾学校、三重病院、三重大病院、児童相談所などと連携をとっている。

センターからの紹介状持参で、**初診でも受診できる**。例えば、難聴者で発音の乱れが気になり言語聴覚士に診てもらった時など。

意見：そういった連携があることを聞き、安心した。周知方法等を見直し、少しでも早期に相談できるよう支援してほしい。関係者もこういった体制があるのか知らない。

## 8) 字幕映像ライブラリー制作・貸出事業

質問：(1)のc「受注制作」について。既成の作品に字幕を付けるものことか。

要約筆記の派遣の際、動画の上映があり、テープ起こしを依頼されることもある。

しかし行政が制作したもの、特に命に係わるものについては、あらかじめ行政側で字幕を付けてほしいと要望していきたい。センターに依頼すれば字幕を付けてもらえると伝えてもいいか。対応できる場合、費用はどのくらいか。

回答：対応します。実費程度(3,000円/分)の費用を設定している。字幕と手話付きは倍額になる。字幕制作ボランティアと手話通訳への謝礼と職員の人件費です。

## 9) 災害事業

質問：災害支援サポーターの登録は、更新(意思確認)があるのか。

また、サポーターへの研修はあるのか。

回答：更新は考えていない。

研修は、年1回は開催したい。まずは、災害時の連絡方法や動きについて確認したい。

また、今後はもっとサポーターを増やしていきたい。

意見：サポーターへ安否確認等をすれば、意思確認はできると思う。家庭の事情などにより状況が変わってくると思う。発災後にサポーターに連絡が取れないと困るので確認することを検討してほしい。

回答：わかりました。

意見：要援護者名簿の、保管方法と活用の仕方について教えてほしい。

回答：現在、伊勢市とのみ協定を結んでいる。伊勢市の場合は、平常時は市が名簿を保管。発災後に名簿をもらうことになっている。名簿をもらったら、近くのサポーターに名簿を渡し、避難所等を回り安否確認してもらう。安全確認後は情報提供をしていく。また周囲の人に配慮をお願いするなどの支援する。心のケアが必要な場合は、相談支援につなげる。

サポーターはグループで活動してもらう。グループのリーダーに名簿を渡し、担当を振り分けるなど指示を出してもらう予定。

## 10) 地域活動団体交流について

質問：センターのホームページに要約筆記サークル一覧を掲載してほしいとお願いしたが、まだ掲載されていない。ぜひお願いしたい。

回答：早急に対応します。

## 11) その他

意見：報告書が見やすくなり、委員会の進行もスムーズにできるようになった。

達成目標の一覧で、確認しやすくなった。

1週間前までには事前質問を提出するようにします。

事業の中でアピールする点があれば、報告書に載せてください。

意見：事前質問に対する回答を文書でもらいたい。要約筆記だけでは、情報が流れてしまい難聴者には分りづらい。会員にしっかりと報告したいのでお願いします。

回答：今後は、文書で回答するようにします。ただし、当日の配布となるのでご了承を。

以上